

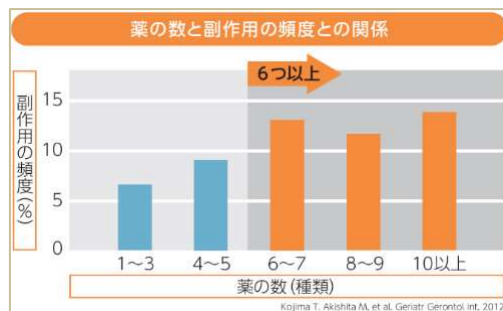
ポリファーマシーの適正化に向けて

薬剤科 並 慎一郎

新年度を迎え、桜の便りとともに新たな気持ちでスタートを切る季節となりました。日頃より、薬剤科の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。令和7年度も、当院の医療チームの一員として、薬物療法の適正化に努めてまいります。

今回は「ポリファーマシー（多剤併用）」についてご紹介します。

高齢化の進展に伴い、多くの患者さんが複数の疾患を抱え、結果として多数の薬剤を服用するケースが増加しています。複数の医療機関を受診することで不要な薬や重複した薬が処方されることも少なくありません。高齢者では、服用する薬が6つ以上になると、副作用を起こす割合が増えることが分かっています（右図）。



ポリファーマシーとは、明確な必要性がないまま複数の薬剤を継続的に服用している状態を指します。これにより、有害事象の増加（転倒、認知機能低下、腎機能障害など）、薬剤間相互作用のリスク、アドヒアランス（服薬遵守）の低下、医療費の増加など、さまざまな問題が生じます。

ポリファーマシーの問題を解決するためのアプローチとして、以下に該当する薬剤を抽出し、多職種で情報共有、評価・検討することが重要だと考えられます。

- ①薬効が重複している薬剤
- ②漫然投与されている対症療法薬
- ③継続しても害はないが効果も見込めない薬
- ④副作用が発現している薬
- ⑤患者が不要と感じている薬
- ⑥腎/肝機能の観点から有害事象発現リスクのある薬

また、患者さんへのポリファーマシー適正化への取り組みは薬剤総合評価調整加算という診療報酬を得ることができます。この加算の取得は当院における「安全な薬物療法の提供」と「薬物療法の質向上」に資するものと考えています。

当院が入院時にポリファーマシーの適正化を進めるためには、薬剤師が専門性を活かして上記①、②、③、⑥などの情報を抽出するだけでなく、多職種が協力して④や⑤の情報を収集し、減薬・代替薬を検討する必要があります。

理念

○私たちは、自分が受けた医療・看護・介護を提供します。

基本方針

- ・患者さまの権利と尊厳を大切に、心のこもった医療・看護・介護を提供します。
- ・根拠に基づいた説明のできる医療・看護・介護を実践します。
- ・全職種による安全で質の高いチーム医療を行います。
- ・急性期から在宅医療までを繋ぐ医療・看護・介護を提供します。
- ・地域連携に努め、地域包括ケアシステムの発展に貢献します。



宮崎医療センター病院

四季

題字 理事長自筆

春号

2025年 4月 23日 発行



宮崎医療センター病院
宮崎市高松町2-16
TEL: 0985-26-2800
FAX: 0985-27-6811



★ふれあいサロン★



宮崎医療センター病院が位置する小戸地区周辺には、多くの自治会があります。毎月、地域住民の方と公民館等で交流会が開催されています。認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう地域の方との交流や専門職への相談、家族同士の情報共有など認知症の人を支えるつながりを支援する場として運営しています。血圧測定、健康体操、健康講和等ご要望ありましたら、お気軽にご相談ください。

★おめでとうございます★

2025年3月8日（土）に宮崎県医師会から、地域医療に貢献した方々への表彰がシーガイアコンベンションセンターにて開催されました。当院の今吉ケアマネージャーが職員表彰されました。今吉ケアマネージャーは長年に渡り、地域医療の推進に精励し、功績を称えられました。おめでとうございます。



患者様の権利

- ・患者様は、良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
- ・患者様は、人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
- ・患者様は、自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
- ・患者様は、医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを決定する権利があります。
- ・患者様は、プライバシーを尊重される権利があります。

【患者の皆様へのお願い】

良質な医療を実現するために、医師をはじめとする医療提供者に対し、ご自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供して下さいようお願い致します。



宮崎医療センター病院

★緩和ケア病棟★

緩和ケア病棟では毎月1回、レクリエーションを行っています。写真は1月～3月に行ったレクリエーション活動の様子です。患者様の気分転換になるようにと毎月アイデアを練っています。私たちはがんの終末期患者様とご家族に対し、多職種協働で質の高い緩和ケアを目指して行きます。

★1月 書き初め会★



毎年恒例の新春書き初め会でした。院長先生が直筆で「梅桃桜春」を書いていただきました。春に花が咲き始める植物の順番を表しており、もうすぐ寒い冬が終わり、暖かい春がやってくる時間の流れを表現しています。春をイメージしたデザートを食べながら、もうすぐやってくる春の足跡を楽しみにゆったりとした時間を過ごしました。

★2月 節分★



2月は節分会を開催しました。病棟看護師によるピアノ演奏では、作曲家の生涯とその時代背景を分かりやすく丁寧に説明していただきました。節分会の終わりには、患者様とご家族で、今年一年の無病息災を願って、鬼に向かって豆に見立てたボールを投げました。

★3月 音楽祭★



3月19日に宮崎医療センター病院にて、小林看護医療専門学校吹奏楽部の皆さんを迎えて音楽祭が開催されました。当日は患者様とご家族を含め、院内外から多くの方々にご来場いただきました。外来クラーク橋本さんによるピアノ演奏では、流線型を描くような美しい音色に終始聴き入っていました。小林看護医療専門学校の吹奏楽部の皆さんと、当院の診療情報管理室の甲斐さん・臨床工学技士の鈴木さんの合奏が行われました。迫力のあるサウンドで会場を包み、時に優雅に、楽しく、時間を忘れるくらい素晴らしい至福の演奏会になりました。



★大規模災害訓練★

ポリファーマシーの適正化は、患者さんのQOL向上と医療の質の向上に直結する重要なテーマです。2025年3月から医師、看護師、リハビリセンター、栄養科、地域連携室などの方々と一緒に入院時多職種カンファレンスが始動しました。入院時の持参薬は本当に必要な薬剤なのか、多職種で検討できる場にしていきたいと私は考えています。薬剤師の専門性を活かしながら、皆さまと協働して取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2025年2月26日に当院で大規模災害対処訓練を実施しました。

夜間での地震・津波災害及び、水防法に伴う洪水時の避難を想定した内容で訓練の計画をし、大事故や災害時における救助を様々な角度からシミュレーションできるように机上訓練や実働訓練を行いました。実働訓練では、普段触れる機会のない、消火器、院内消火栓を使用する訓練のため、貴重な時間になったかと思います。



★謝辞★

新聞のおくやみ欄に掲載されていました。(一部抜粋)
有難いお言葉を頂戴いたしました。心からご冥福をお祈りいたします。

在宅にて治療する事を見守って頂いた宮崎医療センター病院 常に寄り添って頂いたみやさき訪問看護ステーションの方々には深く感謝申し上げます

★作品紹介★

みやざき中央支援学校 高等部の生徒さんから絵画を寄贈していただきました。力強く、鮮やかな色の重ね方で今にも動き出しそうな作品です。緩和ケア病棟5階・6階通路に飾ってありますので、近くにお越しの際はぜひ一度ご覧になってください。

